

物性委員会主催

「物性研究における未来の学術振興構想」
意見交換会(9月13日)
報告

物性研究将来検討小委員会
遠山 貴巳 (東理大先進工)

「未来の学術振興構想(2023年版)」の中で、2022年に開催した意見交換会を経て提案された「学術の中長期研究戦略」(10件)

スピントロニクス・量子情報学術研究基盤と連携ネットワーク

プラズマ物理の学際的展開―集団現象の理解に向けて―

物性科学連携研究体 ～エネルギー技術革新を通じて22世紀の理想社会実現の基盤形成に貢献する研究ネットワーク・オブ・ネットワークス～

未踏強磁場科学による物質材料研究の飛躍

MLF第2ターゲットステーション: 中性子・ミュオン科学の新たな展開

量子ビーム施設統合マルチプローブ学術研究基盤

大強度低速陽電子ビームによる物性科学・基礎科学の革新的展開

世界を先導できる大型パワーレーザー施設による国際中核拠点の構築

21世紀の量子プローブ「ミュオン」を用いた学際科学の新展開

中性子ビーム利用の中長期研究戦略

物性委員会主催
「物性研究における未来の学術振興構
意見交換会

日時: 9月13日(土) 13時～16時30分

Zoom開催

参加者 60名

開催趣旨:

日本学術会議が改訂と追加提案を募集している「未来の学術振興構想」の「学術の中長期研究戦略」について、物性関係の提案内容を発表・共有するとともに、物性コミュニティ内での意見交換を通じて、分野間連携も視野に入れた改訂・追加提案策定の機会となる場を提供することを目的とする。

プログラム

セッション1

座長: 遠山 貴巳(東京理科大学)

13:00~13:05 野原 実(物性委員会・広島大学)

はじめに

13:05~13:20 小野田 敬(東京科学大学・日本中性子科学会)

中性子科学の中長期研究戦略

13:20~13:35 足立 匡(上智大学理工学部・日本中間子科学会)

日本中間子科学会からの提案

ーミュオン科学センター・量子ビーム連携・文理融合ー

13:35~13:50 長嶋 泰之(東京理科大学・日本陽電子科学会)

大強度低速陽電子ビームによる物性科学・基礎科学の革新的展開

13:50~14:05 船守 展正(KEK物質構造科学研究所)

量子ビーム施設統合マルチプローブ学術研究基盤

14:05~14:20 大友季哉(KEK物質構造科学研究所/J-PARCセンター)

MLF第2ターゲットステーション: 中性子・ミュオン科学の新たな展開

14:20~14:35 島田 賢也(広島大学放射光科学研究所)

紫外線域の高輝度小型放射光源を基盤とする国際研究・人材育成拠点の形成と動的局所構造解析による量子物質科学・量子生命科学の推進

休憩(20分)

セッション2

座長:野原 実(広島大学)

14:55～15:10 佐藤 卓 または 益田 隆嗣(東京大学物性研究所)

研究用原子炉による中性子科学が切り拓く未来

15:10～15:25 松田 康弘(東京大学物性研究所)

未踏強磁場科学による物質材料研究の飛躍

15:25～15:40 兒玉 了祐、重森 啓介、尾崎 典雅(大阪大学レーザー科学研究所)

大型パワーレーザーによる国際共創拠点構想

～パワーレーザーによる物質科学への貢献～

15:40～15:55 渡邊 聡(東京大学大学院工学系研究科・日本表面真空学会)

表面科学と真空技術のシナジー効果による次世代科学技術の推進

15:55～16:10 山本 浩史(分子科学研究所)

物性科学連携研究体

16:10～16:25 **ディスカッション**

16:25～16:30 遠山 貴巳(物性研究将来計画小委員会・東京理科大学)

おわりに